

- (em)
1. エム (英語アルファベットの第13文字)
 2. 連続したものの13番目
 3. ローマ字の1000

ABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナー

make a pass at/メイクアパスアット..... ～に言い寄る

一組の男女が何年もの月日をかけ、ようやく友情を越えて恋に落ちるといふ映画「恋人たちの予感」で、メグ・ライアン扮するサリーがビリー・クリスタル扮するハリーのことをボーイ・フレンドにこう言います。He made a pass at me! (あいつったら、私に**言い寄った**のよ!) 彼女が怒るのも無理はなし、ハリーはそのとき、サリーの**親友の恋人**だったというわけ。暗れてラストには結ばれるふたりだけれど、こんなカン違いの make a pass はヒンシュクのもと。実行する上には覚悟のほどを。

make a wish/メイクアウィッシュ..... 願いをかける

誕生日に願いをかける。夜空の星に願いをかける。「神サマ仏サマ、どうかそこんとこをひとつ、くれぐれもよろしくお願ひしまする〜っ」と必死になつてゐるあなたにこの make a wish をどうぞ。♪Close your eyes, make a wish, and blow out the candle♪ (瞳を閉じて、願いをかけて、ろうそくの火をふきつけてごらん) なんて、甘く、**あま〜く**歌われていたのはご存じ Boys II Men の「I'll make love to you」。う〜んスウィートです♥では、めでたく願い叶ってやったね状態の君は何と言う? そう、My dreams came true! (**夢が叶った!**) 過去形のドリカム、です。

make up a story/メイクアップアストーリー..... でっちあげ

「ぜったいウソやし!」と言いたくなることってあります。「ホンマやって!」と譲らない相手ににじり寄るあなた。You're making up a story, aren't you? (それって作り話でしょ、でしょ、**でしょ?**) と疑いのまなこを向けるのです。しかし相手も I'm not making it up! (作り話じゃないっての!) とどこまでも強気だったりして、戦いは続く。「作り話だ」には It's pure fabrication. という言い方もあり。しかし、いくら相手の話に真実味がなくとも、学校で習った lie (嘘) を使った You are liar. はよっぽどでない限り使っちゃダメ。「あなたはこともあろうか**大ボラ**吹きではないか」と、まるでケンカごしだからして、日本人の得意とする**リアリ〜?**にしても、英語っぽくしようと極端に語尾を上げて大げさに言うとか「このひとったらもぉ〜、また冗談ばっか」てな響きになってしまい、「おまえ疑ってんのか、**え?**」とスゴまれる恐れもあるので気をつけよう。

make up your mind/メイクアップヨアマインド ちゃんと決めてよ

あれも食べたいがこれも食べたい、あの映画も見たいけどこの映画も見たい、あの子もいいけどこの子もいい。と、人生に迷いは多々あれど、いつもいつもこんなこと言ってる**迷える小羊**には大きな声で忠告してあげよう。C'mon, make up your mind! (ねえ、早く決めちゃいなよ!) また、みんながちゃ〜んと準備完了! してるのにひとりだけ「ちょっと待ってよ〜」とモタつているスローなひとにはこれ、What are you waiting for? (なに**グズグズ**しているの?) で hurry up! です。

matching/マッチング..... お揃いの

調和する、ぴったり合う、お揃いの、が matching。a matching pair of glovesだと「お揃いの手袋」となるわけです。ちなみに、カップルが頭の方から足の先までお揃いの格好をする日本でいうところのペア・ルック、あれは個人主義の欧米からみればまるで**アンビリーバブル**な行為。知り合いのアメリカ人はこう言った。「日本に来て驚いたのは、若い男女の二人連れがみんな同じ服を着ていること。親が同じ服を着せるのかな? 日本人の**兄妹**って、ホントに仲がいいんだねえ」。いくら愛があろうとも、恋人同士が同じ格好をするなどと彼らには想像もつかないのである。ハワイあたりに行く新婚さんは心するべし。

maybe next time/メイビーネクストタイム.... また今度ね

「わたしって美人で派手だし遊んでる風に見えるせいか、男がウルサクって仕方がないのぉ」とお困りのお嬢さま方にぜひ使ってほしいフレーズです。飲みに行こう海に行こうカラオケに行こう夜寝見に行こう! と、際限なく続く殿方のお誘いは、この maybe next time (また今度にしてね) で**シャツアウト**しよう。「今度?、じゃいつにする!」と必死で手帳をくる彼がふと顔を上げると、彼女はもうとっくにトンスラ。つまりこれはヤンワリのお断わり。気の毒だが next time なんて**永遠に来ない**場合が多いのである。ああ無情。もちろん彼女に脈があるときは、I'm sorry, but please ask me again. (ゴメン、でもまた誘ってね) と必ずフォローが入るはずだから、がんばりたまへ。

My heart goes out to you/マイハートゴーズアウトウユ 心からご同情もうしあげます

I'm really sorry for you (お気の毒に) や That's too bad (そりゃ大変ね) など、相手の状況に同情する言葉はいろいろです。My heart goes out to you も、自分の気持ちを伝える**あったかい**言葉。使用度高し、です。

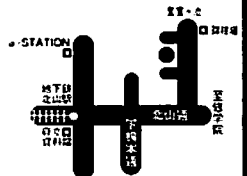
..... Mother fucker/マザーファッカー.....

最低なヤツ、馬鹿野郎



前回に続いての侮辱名詞。これはたぶん最上級の侮辱で、言ったら相手は必ず怒る。

Fuck you, mother fucker!
(くたばれ、このタコ!)
日本語にするなら、本当はもっときたない表現。一発なぐつたに等しいのだ。



ケニー・松村

エル・ドラド

〒606 京都市左京区下鴨北山宝ヶ池通上ル西側
Tel.075 (702) 2666